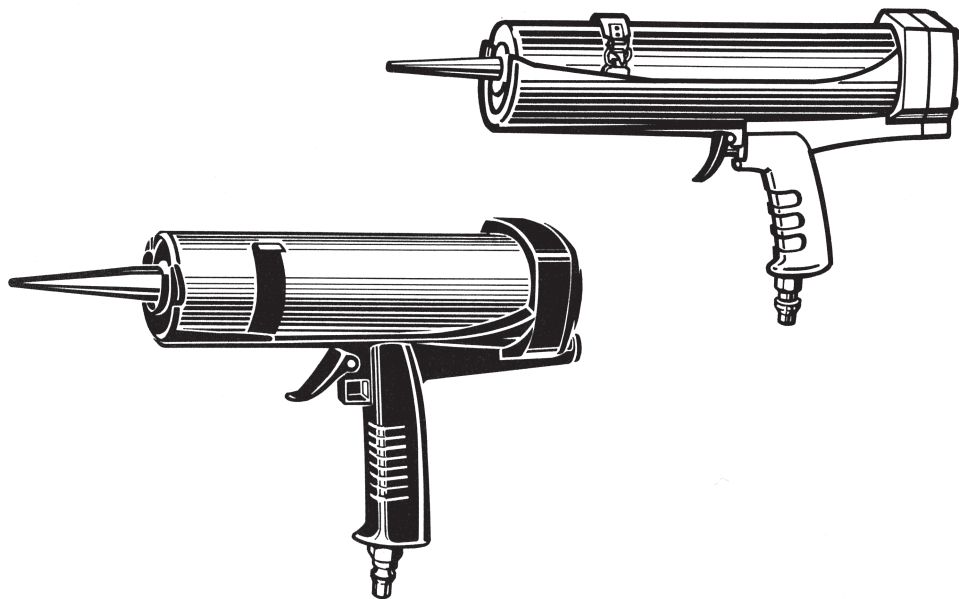


マックスエアコーキングガン AT-CG50 AT-CG60

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用しない時、また、調整・修理の時は必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックスエアコーキングガンをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

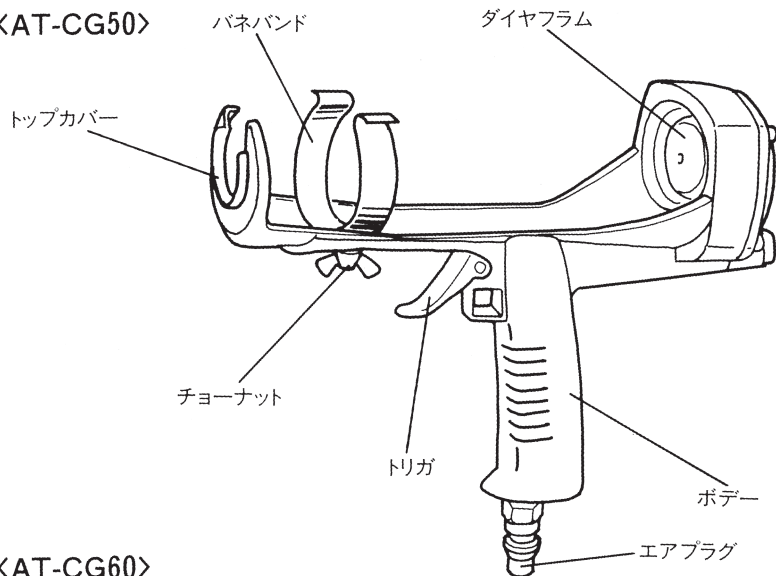
目 次

1. 各部の名称	1
2. 用途	1
3. 安全作業のために	2
4. 安全装置について	7
5. 商品仕様	7
6. 使用方法	8
7. 性能を維持するために	11

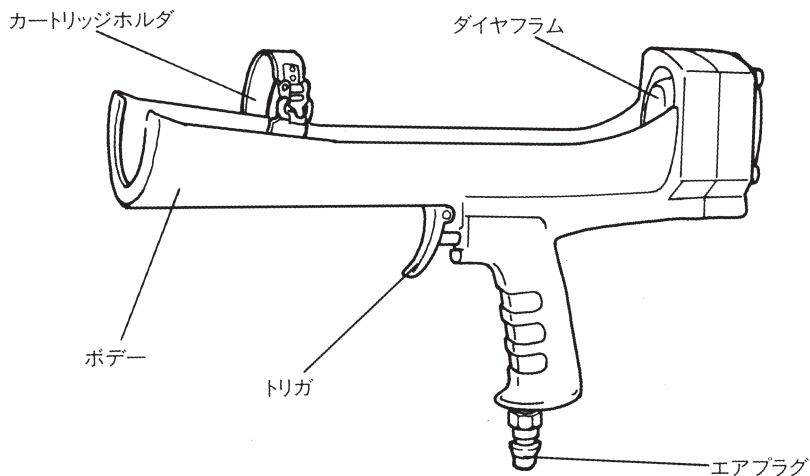
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称

<AT-CG50>



<AT-CG60>



2 用途

プレハブ、ビル内装・ダクト工事、エクステリア、バスユニット、キッチンユニット、シャッターなどのコーキング・シーリング・接着作業

本機は、各種用途のコーキング・シーリング・接着作業を目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

①作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて保護メガネ、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へお申しつけください。

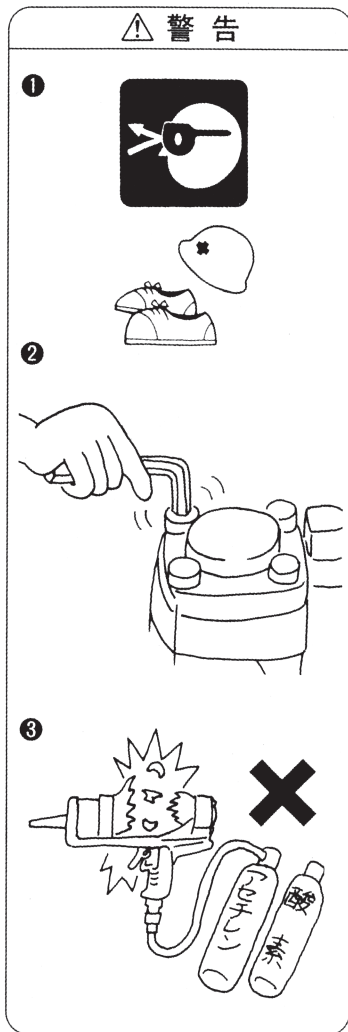
②エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
 2. 各部品が外れていたり、傷んでいないか。
- 不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

③エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。



④エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

- 1.トリガに指をかけない。
- 2.カートリッジのノズルを人体に向けない。

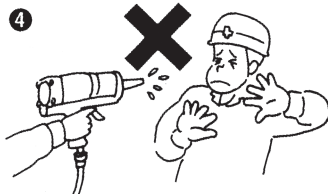
⑤指定筒径にあったカートリッジを必ず使用する。

指定されたカートリッジと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のカートリッジ筒径のものをご使用ください。

⑥作業場所を常に整理する。

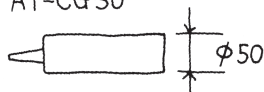
作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

⚠ 警告

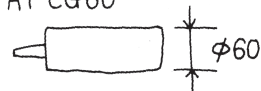


⑤

AT-CG 50



AT-CG 60



⑥



作業中

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は、1～3kgf/cm² (0.098～0.294MPa) です。その範囲内で調整し使用してください。3kgf/cm² (0.294MPa) を超えた圧力で使用するとカートリッジの破損等危険を生じる恐れがあります。

②揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気と一緒よに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

③作業中断時は必ずエアホースをはずす。

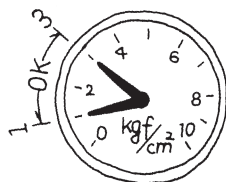
作業中のカートリッジ装填、調整のときは誤って作業すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

④異常を感じたら絶対に使用しない。

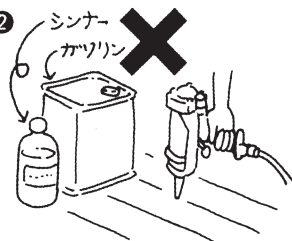
作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⚠ 警告

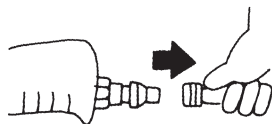
①



②



③



④



作業後

①作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

②作業終了時には必ずカートリッジを抜き取る。

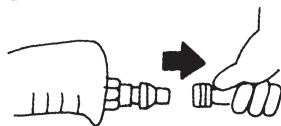
カートリッジを本体に残しておくと、次に使用するとうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ず本体にセットしたカートリッジを抜きとってください。

③本機を絶対に改造しない。

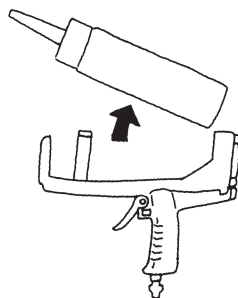
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

⚠ 警告

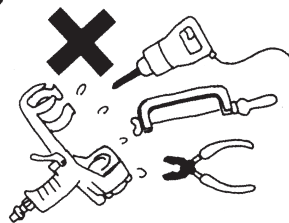
①



②



③



屋外作業について**①足場の安全性を充分に確認する。**

足場を使つての高所作業の場合、作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

②エアホースの確保。

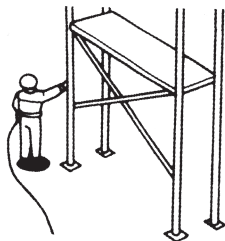
高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。

③直射日光をさける。

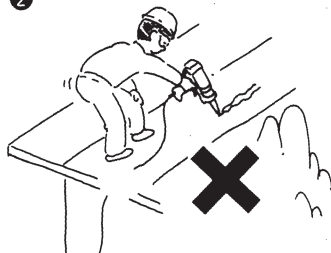
本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

⚠ 警告

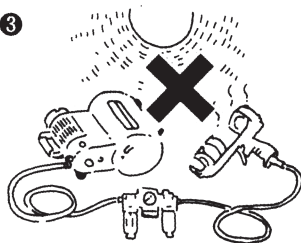
①



②



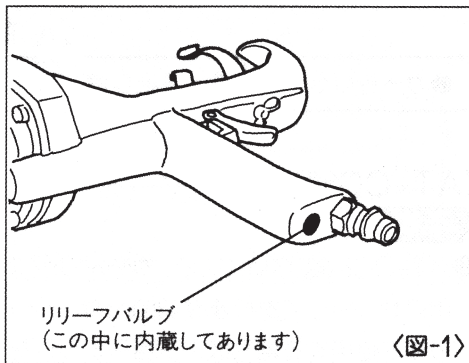
③



4 安全装置について

●リリーフバルブ

本機の使用空気圧範囲は1～3kg f/cm² (0.098～0.294MPa) です。3kg f/cm² (0.294MPa) を超える圧力では使用しないでください。異常高圧で使用するとリリーフバルブより音を発し減圧します。その場合はただちに作業を中断し、エアホースをはずして打込圧力を再調整してください。また、エアコンプレッサ・空気経路を点検してください。なお、本機のリリーフバルブはボデー部後方本体に内蔵しています。〈図-1〉



5 商品仕様

商 品 名	マックス エアコーキングガン	
商 品 記 号	AT-CG50	AT-CG60
寸 法	(H)250×(W)67×(L)175mm	(H)346×(W)83×(L)220mm
重 量	535g	970g
使用カートリッジ	筒径φ50mm	筒径φ60mm
使用空気圧範囲	1～3kgf/cm ² (0.098～0.294MPa)	
使 用 ホ ー ス	内径7mm以上、長さ30m以内	
使 用 オ イ ル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)	
安 全 装 置	リリーフバルブ	

6 使用方法

【カートリッジの装填方法】

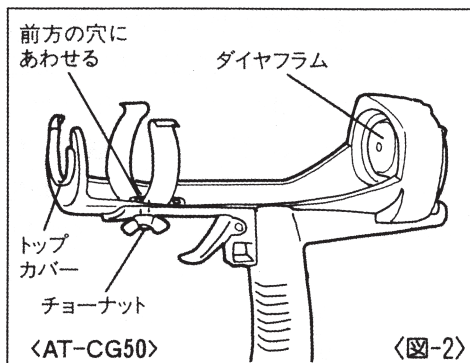
⚠ 警告

●カートリッジを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

〈AT-CG50〉

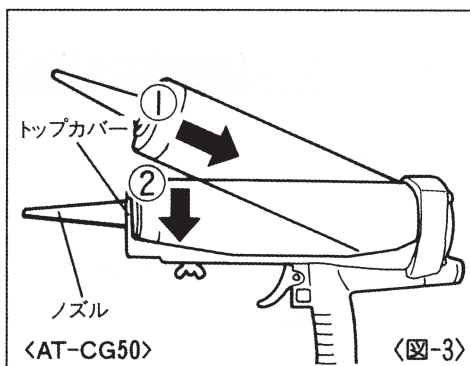
手順

- ① AT-CG50は330cc($1\frac{1}{3}$ ℓ)カートリッジ用にセットしてあります。360ccカートリッジを使用する場合は、チョーナットをはずしてトップカバーをボディ前方の穴にあわせてください。 〈図-2〉

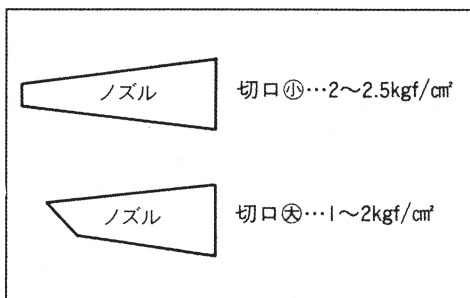


- ② カートリッジ後部を本機後部のダイヤフラム側に入れ、ノズルをトップカバーに入れます。 〈図-3〉

- ③ カートリッジ先端を使用状況にあわせてカットします。



※ノズルの切口形状と空気圧力との関係は、右図を参照して、コンプレッサの圧力を調整してください。

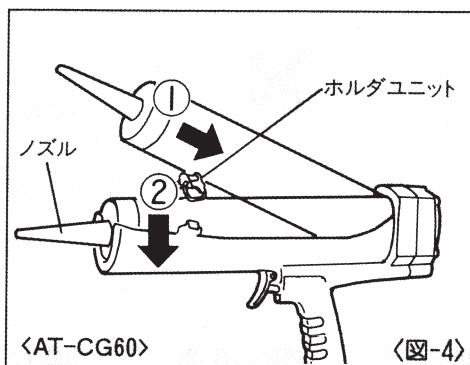


〈AT-CG60〉

手順

- ①カートリッジ後部を本機後部のダイヤフラム側に入れ、ノズルをトップ部分に入れます。

〈図-4〉

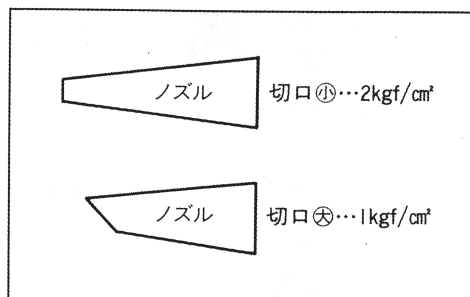


⚠ 注意

- カートリッジ装填後は、ホルダユニットでしっかり固定してください。

- ②カートリッジ先端を使用状況にあわせてカットします。

※ノズルの切口形状と空気圧力との関係は、右図を参照して、コンプレッサの圧力を調整してください。



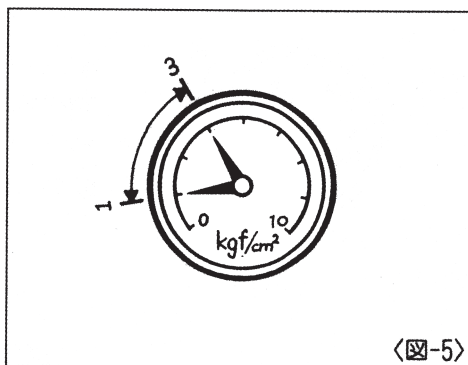
【使い方】

- ①エアコンプレッサの圧力を調整します。

1~3kgf/cm² (0.098~0.294MPa)

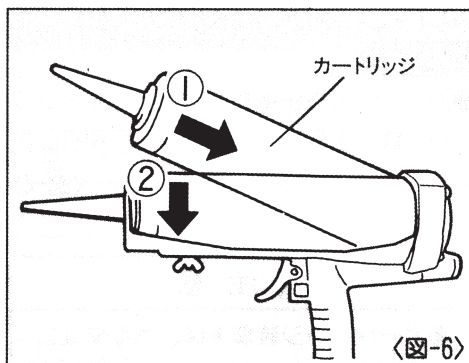
〈図-5〉

※レギュレータが装備されていないコンプレッサをご使用の場合には、別売のマックス調圧器AC-1をお使いください。

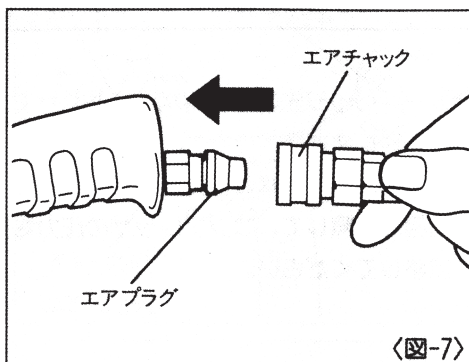


〈図-5〉

②カートリッジを装填します。 <図-6>



③エアホースを接続します。 <図-7>

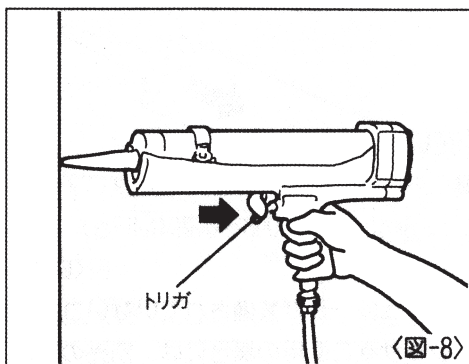


④使用箇所にノズルの先端を当てます。

⑤トリガを引きます。

トリガを引いている間、充填作業が行なえます。

<図-8>



7 性能を維持するために

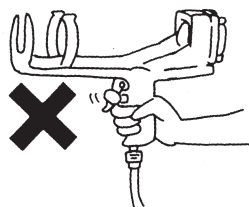
① 本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



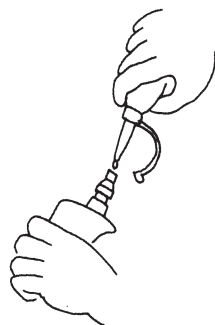
② カートリッジを装填しない時にトリガを引かない

カートリッジを装填しない状態でトリガを引くと、ダイヤフラムの損傷、破損の原因になりますので絶対にトリガを引かないでください。



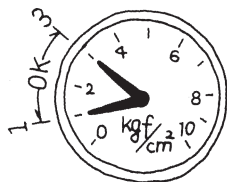
③ 指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2～3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



④ 使用空気圧3kgf/cm² (0.294MPa) 以上では使用しない

本機の使用圧力範囲は1～3kgf/cm² (0.098～0.294 MPa) です。3kgf/cm² (0.294MPa) 以上で使用すると、本機の寿命が短くなるばかりでなく、カートリッジ破損の原因にもなりますので、いかなる場合でも3kgf/cm²以上では使用しないでください。



⑧ 定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。



本社・営業本部	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121代
東京支店	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118代
札幌支店	〒060 札幌市中央区大通り東6-12-8	TEL(011)261-7141代
仙台支店	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121代
名古屋支店	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531代
大阪支店	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031代
広島支店	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331代
福岡支店	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416代
盛岡営業所	〒020 盛岡市仙北町下野18-1	TEL(0196)35-5575代
多摩営業所	〒187 小平市小川町2-1253	TEL(0423)44-6268代
宇都宮営業所	〒321 宇都宮市築瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277 柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500
川崎営業所	〒213 川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地1F	TEL(044)844-4700代
泉南営業所	〒596 岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211代
神戸営業所	〒658 神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220代
南九州営業所	〒891-01 鹿児島市上福元町2578-1サンアベニュー1F	TEL(0992)69-5347
新潟マックス(株)	〒955 三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112代
水戸マックス(株)	〒310 水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(0292)55-3761代
群馬マックス(株)	〒379-22 佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123代
埼玉マックス(株)	〒331 大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341代
千葉マックス(株)	〒284 四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400代
横浜マックス(株)	〒241 横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661代
長野マックス(株)	〒390 松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377代
長野営業所	〒381-22 長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740代
静岡マックス(株)	〒422 静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116代
金沢マックス(株)	〒921 金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871代
富山営業所	〒930 富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182代
福井営業所	〒910 福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378代
岐阜マックス(株)	〒500 岐阜市北一色4-3-5	TEL(0582)47-6121代
京滋マックス(株)	〒612 京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061代
兵庫マックス(株)	〒673-04 三木市大村高柳109-1	TEL(07948)3-2121代
岡山マックス(株)	〒700 岡山市野田3-32-28	TEL(086)246-9516代
四国マックス(株)	〒761 高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770 徳島市末広2-1-17	TEL(0886)23-0286代
松山営業所	〒790 松山市市坪北1-17-1	TEL(0899)58-4031代
マックスサービス(株)本社	〒330 埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448代
マックスサービス(株)大阪	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
マックスサービス(株)名古屋	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
マックスサービス(株)福岡	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430
マックスサービス(株)広島	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
マックスサービス(株)仙台	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778代
マックスサービス(株)札幌	〒060 札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

3510420
250606-01/02

